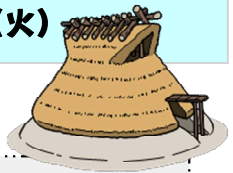


静岡県立清水特別支援学校 (4年生)出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年11月7日(火)



「形やパーツを自由に作ることができ、粘土の感触を楽しむこともでき、教員を含め皆熱中していました。」



静岡県立清水特別支援学校の4年生16人が、はにわに興味をもち、作る活動を通して出来上がる喜びを味わうことを目的に、ミニはにわ作りを行いました。

ミニはにわ作り体験



初めに、はにわと古墳時代の話を簡単にしました。次に、袋から取り出した粘土を大きい粘土と小さい粘土に切り分けて、大きい粘土をコネコネしました。その粘土で胴体を作りました。途中でヒビが入るので、水をつけて表面をツルツルにしました。小さい粘土で部品を作りました。手が細長くなってしまい

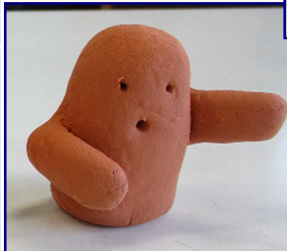
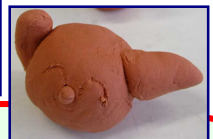
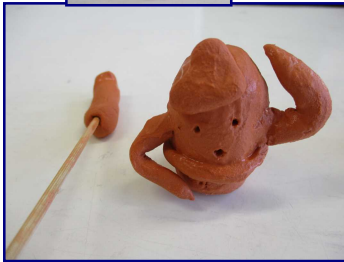


「早く持って帰りたい。」
「ママに見せたい。」

困っていたので、手伝いました。余った粘土で、リボンや帽子などを作り完成です。個性豊かなミニはにわができました。

「粘土おもしろかったね。」
「また作りたいね。」

「かわいくできたよ。」



先生方の感想

「障害があり理解が難しい子どもたちだったので、説明を聞くのが難しかったようですが、粘土やキットを分けておいてくださったので、子どもたちに活動内容が伝わりました。ミニはにわ作りは、形やパーツを自由に作ることができ、粘土の感触を楽しむこともでき、教員を含め皆熱中していました。腕をつけるときや、粘土の切り方など、作るときポイントがわかりやすかったです。子どもたちの「手伝って。」の声に応じてくださり、ありがとうございました。」

